



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 10 日

上場会社名 特種東海ホールディングス株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 3708 URL <http://www.tt-paper.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安本 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR室長 (氏名) 三谷 充弘 TEL (03) 3281-8581

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	21,252 —	453 —	374 —	137 —

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	0.93	—

(注) 当社は、平成 19 年 4 月 2 日、特種製紙株式会社と東海パルプ株式会社が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。四半期財務・業績の概況は当連結会計年度より作成しておりますので、前年同期実績及び対前年同期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	135,887	63,807	46.7	410.46

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	△422	△949	1,213	3,581

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

中間期及び通期ともに、平成 19 年 5 月 11 日に公表しました業績予想から変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	43,500 —	850 —	650 —	300 —	1.95
通期	88,700 —	2,200 —	1,800 —	1,000 —	6.50

(注) 四半期財務・業績の概況は当連結会計年度より作成しておりますので、対前年同期増減率は記載していません。

3. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(注)当社は、平成19年4月2日、特種製紙株式会社と東海パルプ株式会社が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。四半期財務・業績の概況は当連結会計年度より作成しておりますので、「期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）」及び「最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無」は記載しておりません。

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他 をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加と個人消費の堅調さに支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、紙パルプ業界においては、原燃料価格の高騰が大きく影響し、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、産業用紙では主力製品である段ボール原紙とクラフト紙は、販売量は順調に推移し、前年度より実施した価格修正が浸透しましたが、原燃料価格の高騰が利益を圧迫し、厳しい状況となりました。

特殊紙ではファンシーペーパーと高級印刷用紙は、堅調な需要と販売単価の上昇により、販売金額は前年実績を上回りました。特殊機能紙は重点拡販商品と位置付けた各種合紙、耐油紙が伸び、機能紙全体を押し上げる結果となりました。

この結果、当第1四半期での連結業績は、売上高が21,252百万円、税制改正に伴う減価償却費の増加等もあり、経常利益が374百万円、四半期純利益が137百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における財政状態は、総資産は135,887百万円、純資産は63,807百万円となりました。自己資本比率は46.7%と高水準となりました。

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は3,581百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動により支出した資金は422百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益224百万円、減価償却費1,729百万円、たな卸資産の増加額539百万円、仕入債務の減少額615百万円、未払消費税等の減少額354百万円、法人税等の支払額533百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動により使用した資金は949百万円となりました。主な要因は、横井工場ガス発電設備等による有形固定資産の取得1,086百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動により得られた資金は1,213百万円となりました。主な要因は、6月8日に三菱商事株式会社に対して行った第三者割当による新株の発行に伴う、株式の発行による収入2,966百万円、長期借入金の返済による支出1,814百万円、配当金の支払額571百万円であります。

3. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の処理：法定実効税率をベースとした簡便的な方法によっております。
- ・固定資産の減価償却の方法：一部については年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な方法を用いております。

4. (要約)四半期連結財務諸表等

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期 (平成19年6月30日現在)	
	金 額	構成比
(資産の部)		
I 流動資産		
現金及び預金	3,586	
受取手形及び売掛金	24,107	
たな卸資産	11,491	
その他	1,983	
貸倒引当金	△61	
流動資産合計	41,106	30.3
II 固定資産		
有形固定資産	74,641	54.9
無形固定資産	1,588	1.2
投資その他の資産	18,550	13.6
固定資産合計	94,780	69.7
資産合計	135,887	100.0
(負債の部)		
I 流動負債		
支払手形及び買掛金	17,414	
短期借入金	29,840	
その他	6,655	
流動負債合計	53,910	39.6
II 固定負債		
長期借入金	14,005	
退職給付引当金	1,318	
役員退職慰労引当金	379	
環境対策引当金	266	
その他	2,198	
固定負債合計	18,169	13.4
負債合計	72,080	53.0
(純資産の部)		
I 株主資本		
資本金	11,485	
資本剰余金	15,659	
利益剰余金	35,749	
自己株式	△2,905	
株主資本合計	59,989	44.2
II 評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,534	2.6
評価・換算差額等合計	3,534	2.6
III 少数株主持分	283	0.2
純資産合計	63,807	47.0
負債及び純資産合計	135,887	100.0

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期	
	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
	金 額	百分比
I 売上高	21,252	100.0
II 売上原価	17,179	80.8
売上総利益	4,072	19.2
III 販売費及び一般管理費	3,619	17.0
営業利益	453	2.2
IV 営業外収益	195	0.9
V 営業外費用	273	1.3
経常利益	374	1.8
VI 特別利益	145	0.7
VII 特別損失	295	1.4
税金等調整前四半期純利益	224	1.1
税金費用	92	0.5
少数株主損益	△5	△0.0
四半期純利益	137	0.6

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	10,000	14,174	36,204	△2,890	57,488
第1四半期中の変動額					
新株の発行	1,485	1,485			2,970
剰余金の配当			△592		△592
四半期純利益			137		137
自己株式の取得				△14	△14
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額(純額)					
第1四半期中の変動額合計	1,485	1,485	△455	△14	2,500
平成19年6月30日残高	11,485	15,659	35,749	△2,905	59,989

	評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
平成19年3月31日残高	3,451	395	61,335
第1四半期中の変動額			
新株の発行			2,970
剰余金の配当			△592
四半期純利益			137
自己株式の取得			△14
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額(純額)	82	△112	△29
第1四半期中の変動額合計	82	△112	2,471
平成19年6月30日残高	3,534	283	63,807

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	期 別	当第1四半期
		自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期純利益		224
2 減価償却費		1,729
3 退職給付引当金の増減額(減は△)		△73
4 役員退職慰労引当金の増減額(減は△)		14
5 受取利息及び受取配当金		△111
6 支払利息		153
7 有形固定資産売却損益(益は△)		△22
8 有形固定資産除却損		11
9 売上債権の増減額(増は△)		73
10 たな卸資産の増減額(増は△)		△539
11 仕入債務の増減額(減は△)		△615
12 その他		△691
小 計		153
13 利息及び配当金の受取額		111
14 利息の支払額		△153
15 法人税等の支払額		△533
営業活動によるキャッシュ・フロー		△422
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出		△1,086
2 有形固定資産の売却による収入		81
3 有形固定資産の除却による支出		△10
4 投資有価証券の取得による支出		△6
5 投資有価証券の売却による収入		63
6 その他		8
投資活動によるキャッシュ・フロー		△949
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入金の増減額(減は△)		649
2 長期借入金の返済による支出		△1,814
3 株式の発行による収入		2,966
4 自己株式の取得による支出		△14
5 子会社による配当金の支払額		△571
6 少数株主への配当金の支払額		△1
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,213
IV 現金及び現金同等物の増減額(減は△)		△157
V 現金及び現金同等物の期首残高		3,739
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高		3,581

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	製紙事業	加工事業	環境事業	計	消去又は は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	17,339	3,580	331	21,252	—	21,252
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,748	196	163	2,108	(2,108)	—
計	19,088	3,777	495	23,361	(2,108)	21,252
営業費用	18,624	3,754	494	22,873	(2,074)	20,799
営業利益	464	22	0	487	(34)	453

(注) 1 事業区分の方法は、業種等を勘案して区分しております。

2 各事業の主な内容

- (1) 製紙事業 産業用紙、家庭紙、特殊紙、パルプ
- (2) 加工事業 紙加工品
- (3) 環境事業 土木・造園事業、山林事業、燃料販売事業、電力販売事業他